

Wリボンプロジェクト 2024 報告書

Double Ribbon Project 2024 Report



STOP Violence

～あなたはひとりではない～

Wリボンプロジェクトって何？



吹田市オリジナルデザイン
「W(ダブル)リボンマーク」

DVと児童虐待。昨今、報道等で、悲惨な事件が伝えられない日はないといっても過言ではありません。

また、内閣府の令和5年度(2023年度)調査では、約4人に1人が配偶者からの暴力を受けたことがあり、女性の約4人に1人、男性の約5人に1人が被害を受けたことがあるという結果が出ています。

吹田市では、DVと児童虐待が密接に関連していることを、あらためて認識し、DV防止対策と児童虐待防止対策を一体として進めていかなければならないと考え、女性に対するあらゆる暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせて、吹田市独自で「W(ダブル)リボンマーク」を考案しました。

このマークを旗印に、平成23年度(2011年度)から、「Wリボンプロジェクト」として、DVや児童虐待に係る講座の開催やマークのピンバッジであるWリボンバッジの販売などを実施し、「あなたはひとりではない STOP Violence」というメッセージを伝えています。

家庭や学校、地域など社会全体に暴力防止への深い理解と関心が広がり、地域や企業などと連携し、DVや児童虐待など「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現をめざします。

Wリボンバッジ

社会全体に暴力防止への深い理解と関心を広げて、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」というメッセージを届けましょう。



すいたんバージョンもあります。



1個 300円 (100個以上は20%割引になります。)

販売場所 吹田市役所 人権政策室(134番窓口)
及び 吹田市立男女共同参画センター

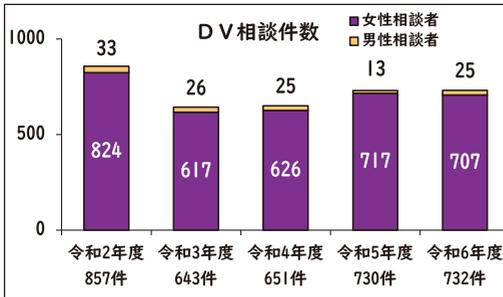
問合せ 吹田市立男女共同参画センター
TEL:06-6388-1451

※売上金がダブルリボンプロジェクト基金に積み立てられ、DV及び児童虐待の防止事業に活用されます。

DVと児童虐待の現状

吹田市では、平成23年（2011年）4月に、配偶者暴力相談支援センターの機能を持つ「すいたストップDVステーション（DV相談室）」を開設し、総合的なDV防止対策を進めています。また、DVを「予防」、「発見」、「支援」、「フォロー」の4つのステージで捉え、それぞれ施策を推進しています。

DV相談の件数は、DV相談室開設以降、年々増加の傾向にあり、近年、600件を超えて推移しています。

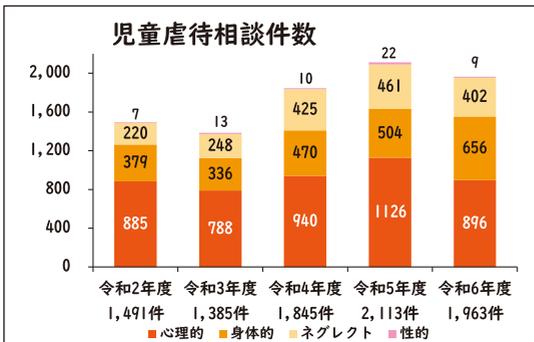


令和6年度（2024年度）は732件となっており、令和5年度（2023年度）より増加、また過去5年間の平均を上回っています。

貧困や傷病、障がい、児童虐待等、様々な要因が重なり、内容が複雑化する傾向にあり、関係機関とのより一層の連携が必要となっています。

児童虐待相談件数については、全国的にも増加傾向が続いています。本市においては令和6年度（2024年度）の相談件数は1,963件と、令和5年度（2023年度）と比較して150件の減少となりましたが、過去5年間で2番目に多い相談件数でした。また、令和6年度（2024年度）末時点の吹田市児童虐待防止ネットワーク会議（要保護児童対策地域協議会）の台帳登録児童数も令和5年度（2023年度）末時点と比較して増加しています。

虐待相談内容の傾向としては、心理的虐待が相談件数全体の半分程度を占めており、これは、主に子供の面前でのDVや兄弟姉妹への虐待を目撃することによる心理的な虐待によるもので、家庭の中で起こる暴力の子供への影響は深刻なものとなっています。



本市では吹田市児童虐待防止ネットワーク会議を中心に、関係機関と密に連携しながら、支援を必要とする児童の早期発見、早期対応、虐待の再発防止に努めています。

様々な取組を行いました



児童虐待防止・子育て支援講座

11/2(土) 午前11時～午後1時

親も子も一緒に育む自己肯定感

～子どもの生きる力の土台をともに築いていこう～

青山学院大学教育人間科学部教授であり、小児科医および小児精神科医として豊富な臨床経験を持つ古荘純一教授を講師にお迎えし、「親と子の自己肯定感」をテーマに貴重なお話を伺いました。

子どもの自己肯定感を育む親自身が、日々子育てする中で悩みやストレスを抱え、自信を無くしてしまうことも多いのではないのでしょうか。子どもの自己肯定感を育む関わり方についてはもちろん、親自身が「私は私で大丈夫」と自分自身を肯定するきっかけを学びました。

参加者アンケートでは「まずは、自分を認め、余裕をもって子供に対応しようと思います。」などの意見がありました。



講演会

11/7(木) 午前10時～正午

その不機嫌、自覚はありますか？

～感情表現が精神的暴力になるときは～



講師：平木 貴子さん

(公認心理師、日本FC学会認定フェミニストカウンセリングアドヴォケイター)

DV被害者の電話相談やSNS相談に長年携わっている平木貴子さんをお迎えして、どこまでが人間的な感情表現で、どこからが精神的暴力になるのか、加害者、被害者にならないように、どういうことに気を付けていけばいいのかを講演いただきました。

受講者からは、「モヤモヤしていたことがスッキリした。自分も加害者にならないように気を付けていきたい。」との感想をいただきました。

Wリボンシアター

11/29(金) 午前10時～正午

こども食堂にて (2018年・日本)



こども食堂を舞台に、貧困や児童虐待の実態や里親の問題、懸命に生きる母親と子供と、それを支える大人たちを描いています。

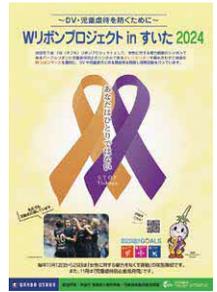
参加者からは「知らない世界だったが、少しでも理解できる助けになり有意義なひとときを過ごせた。」との感想をいただきました。

啓発ポスター作成

Wリボンを大きくあしらったデザイン

サッカーリーグ・ガンバ大阪との協力も

吹田市をホームタウンとするガンバ大阪とのコラボレーション啓発ポスターを作成し、市内の公共施設や小中学校等へ配付しました。また、吹田市役所1階のデジタルサイネージや吹田市ホームページに掲載しました。



ライトアップ

Wリボンカラーでライトアップ

11/1(金)～10(日) 日没から営業時間内

高さ日本一の観覧車、OSAKA WHEEL (オオサカホイール) (EXPOCITY内) をWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。



11/12(火)～22(金)
午後5時～午後9時

メイシアター1階 SUITA×ART (すいたあと) からエントランス付近及びその室内をWリボンカラーのパープルとオレンジにライトアップしました。

イベント出展 6/1(土)

吹田スタジアムフェスタ 2024 in Panasonic Stadium Suita

Panasonic Stadium Suitaで開かれたイベントに参加し、Wリボンプロジェクトに関するブースを出展しました。

啓発ちらしやポケットティッシュ、マスクの配布、Wリボンバッジ販売のほか、折り紙コーナーでは来場者の皆様にパープルとオレンジ色のハートをたくさん折っていただきました。



たくさんの心温まる折り紙のハートは、ダブルリボンプロジェクト in すいた(11月)で、吹田市立男女共同参画センター内にて展示させていただきました(写真右)。

ご協力ありがとうございます！

ダブルリボンプロジェクト基金

Wリボンバッジは多くの方々に御購入いただき、その趣旨に賛同いただきました。その方々の暴力防止への思いを何か形にできないかと考え、平成26年（2014年）3月末に「ダブルリボンプロジェクト基金」を創設しました。

なお、Wリボンバッジ（すいたんバージョン含む）は令和7年（2025年）3月末で累計約30,000個御購入いただきました。

基金には、バッジの売り上げや皆様からの御寄附が積み立てられ、その基金は、様々な啓発活動に加え、中学生に向けたデートDV予防啓発や児童虐待防止啓発講演会の開催等、DV及び児童虐待の防止対策の財源として活用しています。

令和6年(2024年)度、基金には、

41件
777,771円

の御寄附をいただきました。



吹田市すいたん



ダブルリボンプロジェクト基金収支

令和6年(2024年)3月末現在 基金残額	8,671,869円
1 収入	964,254円
寄附金	777,771円
Wリボンバッジ売上金の一部	184,278円
利息	2,205円
2 前年度繰戻金	86,069円
3 支出	929,000円
DV及び児童虐待防止対策に係る事業費に充当するための繰出金	929,000円
基金残額(令和7年(2025年)3末日現在)	8,793,192円

* 寄附金は1月1日から12月31日までにいただいた金額の合計をまとめて基金会計に積み立てます。

基金は、

「暴力のない安心安全のまち、すいた」 の実現のために活用します

デートDV予防啓発出前授業（中学校）

若い世代における交際相手からの暴力＝デートDVを予防するため、正しい知識や対等な人間関係を築くことの大切さを伝える授業を行いました。

令和6年度（2024年度）は大学生ユースリーダーとともに、市内の中学校11校に出向きました。



市内の商店街では、お店の入り口や店内にWリボンマークのステッカーを貼っていただき、普及啓発に御協力をいただいています。



吹田市では、職員が着用する作業服や防災服、帽子等にWリボンマークをデザインし、普及啓発に取り組んでいます。



Wリボンプロジェクト支援自動販売機

吹田市総合防災センターと、吹田市消防本部・西消防署合同庁舎に設置された「Wリボンプロジェクト支援自動販売機」です。市内各地に40台設置されており、Wリボンマークのマグネットやラッピングが施されています。

様々な企業、団体の御協力で、Wリボンプロジェクト支援自動販売機の売り上げの一部がダブルリボンプロジェクト基金に寄附されます。

ダイドーベンディング近畿株式会社
(消防本部・西消防署合同庁舎)

近畿中央ヤクルト販売株式会社
(総合防災センター)



吹田市内郵便局との包括連携協定に基づく取組

郵便局は日々多くの市民が利用する施設です。市内郵便局と連携した啓発活動を行い、広く市民にメッセージを届けています。



Wリボンマークの輪 全国へ

DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W(ダブル)リボンマーク」が全国各地で使用され、活動を広げています。

Wリボンマークは使用申請いただければ、御自由に利用いただけます。

令和6年度は21件の使用申請があり、全国にWリボンの輪が広がっています。

この基金は、DVや児童虐待の防止の啓発などを通し、
「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現のために活用します。



この基金への寄附を募集しています。

あなたの寄附で、DV被害者や児童虐待の当事者に「あなたはひとりではない」というメッセージを伝えるとともに、「暴力のない安心安全のまち、すいた」が実現するよう応援をお願いします。

ダブルリボンプロジェクト基金のサイクルイメージ



ふるさと納税制度を活用して 応援をお願いします。

個人の方が地方公共団体に寄附をいただいた場合、「ふるさと納税」制度の対象となり、2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。

※法人の寄附は、寄附金相当額が損金算入できます。

【寄附方法】

- ① 所定の申込用紙に必要事項を記入し、寄附をお申し込みください。
- ② 最寄りの金融機関等でご入金をお願いいたします。
- ③ 金融機関でお渡しする領収書(これが寄附金受領証明書になります。)を大切に保管してください。
- ④ 確定申告時期に確定申告を行ってください。(上記の領収書が必要です。)

詳しくは下記までお問い合わせください。

吹田市市民部 人権政策室 (ダブルリボンプロジェクト基金担当)

TEL.06(6384)1461

吹田市寄附申込書

吹田市長 宛

年 月 日

下記のとおり、ダブルリボンプロジェクト基金への寄附を申し込みます。

フリガナ	
1 氏名又は団体名	
2 団体の代表者名 (団体の場合のみ)	
3 住 所	〒 ー
4 電 話 番 号	() ー
5 寄 附 金 額	¥ 円
6 氏 名 の 公 表 (どちらかをお選びください)	※今回のご寄附について、お名前等を「市報すいた」や「本市のホームページ」等で公表することについて <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない
7 納 付 方 法 (お選びください)	<input type="checkbox"/> 市役所窓口払い (担当窓口：人権政策室)
	<input type="checkbox"/> 吹田市指定金融機関、吹田市収納代理金融機関での納付 (納付書を後日送付いたします。)
	<input type="checkbox"/> 市の口座へ直接お振込み りそな銀行 吹田支店 普通 0339311 すいたしだぶるりぼんぷろじえくとききん 吹田市ダブルリボンプロジェクト基金 (手数料はご負担となります。) ※振込予定日 年 月 日
	<input type="checkbox"/> 現金書留 (郵送料等にご負担となります。)

※いただきましたご寄附は、全額を「ダブルリボンプロジェクト基金」への指定寄附として積み立てます。

寄附申込先：吹田市民部人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL: 06-6384-1461 FAX: 06-6368-7345

キ
リ
ト
リ

ダブルリボンプロジェクト基金への 寄附をお願いします

- ① 9ページの申込書に必要事項を記入し、人権政策室まで寄附をお申し込みください。
- ② 次のいずれかの方法で御入金をお願いいたします。
 - ① 申込書に記載している振込先に入金する
 - ② 市役所窓口払い（人権政策室の窓口）
 - ③ 現金書留（人権政策室宛）
- ③ 金融機関等でお渡しする領収証書を大切に保管してください。
- ④ 確定申告書に上記の領収証書を添えて確定申告してください。
（ふるさと納税制度の対象となり、2,000円を超える部分について、一定限度まで、原則として所得税と合わせて全額が控除されます。）

2024年度

「Wリボンプロジェクト」協賛事業者等一覧

江坂企業協議会
オリエンタル酵母工業株式会社大阪工場
株式会社河崎ユニフォーム
株式会社ガンバ大阪
近畿中央ヤクルト販売株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
協同組合佐竹ショッピングセンター
株式会社ジェイコムウエスト 北大阪局
吹田企業人権協議会
団地管理組合法人吹田さんくす
一般社団法人吹田市医師会
一般社団法人吹田市歯科医師会
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会
吹田市中通商店街組合
公益財団法人吹田市文化振興事業団
一般社団法人吹田市母子寡婦福祉会
一般社団法人吹田市薬剤師会

吹田ロータリークラブ
泉州電業株式会社
ガイドーアサヒベンディング株式会社
ガイドーベンディング近畿株式会社
高野台B1商店会
株式会社ダスキントナリエ南千里テナント会
学校法人西大和学園大和大学
株式会社ビケンテクノ
日の出商店会
株式会社プロテリアル金属
北越コーポレーション株式会社大阪工場
北港情報サービス株式会社
マロニー株式会社
株式会社山久
匿名（4件）

（50音順、敬称略）

多くみなさんの御協力、ありがとうございました。

お使いください Wリボンマーク



DVと児童虐待防止のシンボルとして、吹田市独自で考案した「W（ダブル）リボンマーク」を使用して活動を広げていただくために、申請いただければWリボンマークを自由に使用いただけることにしています。

Wリボンマークはポスター、文房具など自由に使えます。

Wリボングッズを身近に置くことで、家庭や地域、学校などに女性や子供に対する暴力防止への深い理解と関心を広げてみませんか。

Wリボンマークを使用するには、「Wリボンマーク使用要領」を参考の上、申請してください。詳しくは人権政策室（06-6384-1461）までお問合せください。

市ホームページ



<https://www.city.suita.osaka.jp/kurashi/1018573/1018585/1018591/1006427.html>

Wリボンプロジェクト2024 報告書

令和7年（2025年）10月

発行／吹田市

編集／市民部 人権政策室

〒564-8550 吹田市泉町1丁目3番40号



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



リサイクル適性
この印刷物は、印刷済みの紙へリサイクルできます。

この印刷物は、植物性インキと再生紙を使用しています。

この冊子は900部作成し、1部あたりの単価は90.2円です。